

[前回講義の積み残しを終えた後に]

## I. 条約当事者となるのは EU か EU 構成国か

- EU による条約締結手続
  - 一般 [TFEU](#) 218 条
  - 通商 [TFEU](#) 207 条 3 項
  - 通貨 [TFEU](#) 219 条
  
- [大西洋まぐろ保存国際委員会](#) ([大西洋まぐろ保存条約](#) 3 条) を例に
  - 1966 年 最終議定書署名国リスト ([PDF](#) 4 頁 (8 枚目)) に載っているのは?
  - 1997 年 [委員会報告書](#) 2 枚目 イギリスとフランスにアステリスクが付いているのはなぜ?
    - ◇ [TFEU](#) 198 条 1 段、Annex II ([TFEU PDF](#) の 301 枚目 (334 頁))
  - [現在](#) イギリスが (また) 当事国になっているのは?
  
- 自由貿易協定 EU 側の署名者が異なる理由は?
  - [日 EU EPA](#) PDF 最終頁
    - ◇ [Donald Tusk](#)
    - ◇ [Juncker](#)
  - [CETA](#) (EU・カナダ FTA) PDF 174 枚目から

## II. 紛争の当事者となるのは EU か EU 構成国か

- WTO
  - [Disputes by member](#)  
EU が当事者になっている紛争の数と France, Germany が当事者になっている紛争の数とを比較
  - ドイツが respondent になっている紛争 2 件では、いずれにおいても EU も紛争当事者になっていることがわかる。他方、フランスが respondent になっている紛争 5 件のうち、DS131 と DS173 とでは EU は当事者になっていない。なぜだろうか。

- ITLOS
  - [EU は国連海洋法条約の当事者](#)
  - [ITLOS 事件一覧](#)
  - [Norstar 号事件](#)<sup>1</sup>ではイタリアが被告になり、[カジキ事件](#)<sup>2</sup>では EU (当時は EC) が当事者 (合意による申立て) になったのはなぜか

### III. 国際関係において EU を代表するのは誰か

- [ヨーロッパ理事会常任議長](#) [TEU](#) 15 条 6 項
- [外交安全保障上級代表 \(委員会副委員長\)](#) [TEU](#) 27 条 2 項
- [委員長](#) [TEU](#) 17 条 1 項
  
- [日 EU 首脳協議](#) 2022 年 5 月 12 日
- [日 EU 外相会談](#) 2022 年 11 月 4 日
- ノーベル平和賞授賞式 2012 年 12 月 10 日 [動画](#)の 5 分 25 秒ごろから

以上

---

<sup>1</sup> 日本語での解説として、薬師寺公夫「公海航行の自由原則と船舶に対する旗国以外の国の刑事裁判権——ノースター号事件 ITLOS 判決を契機として」『[国際関係と法の支配](#)』小和田恒国際司法裁判所裁判官退任記念 (信山社、2021 年) 513 頁、吉田靖之「[国際判例事例紹介：国際海洋法裁判所 M/V Norstar 事件](#)」高岡法学 39 号 (2020 年) 97 頁。

<sup>2</sup> 事案へのごく簡単な言及が、水上千之「[公海漁業における沿岸国の権利・利益の問題 \(2・完\)](#)」広島法学 27 巻 2 号 (2007 年) 193 頁、212 頁にある。